

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第149号	氏名	川原 一郎
学位審査委員	主査 関根 一郎 副査 近藤 宇史 副査 永安 武		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は脳梗塞発症のリスクに関連するとされる頸部頸動脈狭窄症におけるプラーク内の炎症・免疫反応に着目し、抗原提示細胞である樹状細胞の関与の状態を探ろうとした研究で目的は明確である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 頸動脈内膜剥離術にて得られた標本の動脈硬化度の分類、樹状細胞の免疫組織学的な検索と画像分析の方法など研究手法は妥当であった。</p> <p>3. 結果考察の評価 プラーク内における樹状細胞の発現がプラーク肩部分に多いこと、動脈硬化度が高いほど多いこと、症候性と無症候性では症候性が高いこと、プラーク内新生血管の周囲に観察されること、T-細胞と隣接して見られることなど、プラーク内樹状細胞の実相を明らかにし、頸部動脈硬化の進展機構の解明に大きく寄与したと評価できる。</p> <p>以上のように本論文は頸部動脈硬化症の進展機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			